

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」
令和5年度（2023年度）授業研究セミナー

道北・外国語（英語）実施報告



令和5年11月16日（木）、北海道留萌高等学校を会場に「外国語科における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）」及び「ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導」をテーマとして道北ブロック・外国語（英語）の授業研究セミナーを開催しました。本講座は、東京学芸大学「高校探究プロジェクト」と連携しており、助言者として、東京学芸大学大学院教育学研究科 藤野 智子 准教授を迎え、26名（会場18名、オンライン8名）の先生方が参加しました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

実施状況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭3名、道教委指導主事3名、大学教授2名（アドバイザーとして、玉川大学 星野 あゆみ 教授）から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで



【指導案検討の様子】

学習指導案の検討を5回実施しました。学習指導案検討会では、「学校教育目標を踏まえた、生徒に身に付けさせたい資質・能力を育成する探究的な学びを目指した単元及び授業づくり」について協議しました。本検討会を通して、単元計画及び指導案のねらいが明確になり、生徒が単元全体で「話すこと（発表）」の資質・能力を効果的に育成する計画となりました。

【研究授業（実践発表）】北海道留萌高等学校 松田 康扶 教諭

英語コミュニケーションⅠのLesson 8 “The Best Education to Everyone, Everywhere” において、「自分の英語に自信をもち、英語で自分の意見を発信できるようになる」ことをねらいとして、帯活動と教科書を通じた学びを効果的に組み合わせた研究授業を行いました。この



【帯活動の様子】

授業の中で、これまでにすごいと感動した文房具などの商品についてペアで、お互いにショートスピーチを行いました。また、オーラルイントロダクションや新出表現の確認等



【ペアワークの様子】

を通して、内容理解の活動を行った上で、Q&Aで理解度を確認するとともに、その内容に係る自分の考えを問う質問も取り入れることで、自分の意見を英語で伝える力を養いました。正しい発音の確認のためにGoogle 翻訳を活用するなど、一人一台端末の活用も行われていました。

[学習指導案リンク](#)

[ワークシートリンク](#)



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

【研究協議】「授業参観の観点づくり」及び「探究的な学びの充実に向けた単元のデザイン及び組織的な授業研究について」

研究授業実施前に、「授業参観の観点づくり」として、本単元のねらいを達成するための本時及び単元の工夫についての考察・協議を行いました。



【研究協議の様子】

また、研究授業実施後に、「探究的な学びの充実に向けた単元のデザイン及び組織的な授業研究について」を柱に研究協議を行いました。参加者は、会場及びオンライン別にグループに分かれ、授業者が作成した学習指導案の第1稿を基に、それぞれの所属校において本単元を



実施するとしたら、どのような言語活動やパフォーマンステストを行うかについて協議を行いました。授業者や協力員の先生など運営者もグループに入り、協議で出た内容をPadletに打ち込んでいき、協議後に打ち込まれた内容を全体で共有しました。

【授業者による説明】

参加者の先生方からは、「他校の先生方と話す機会が出来てモチベーションが上がった」など、組織的に授業研究に取り組むことの効果についての感想も聞かれました。

【助言】東京学芸大学大学院教育学研究科 藤野 智子 准教授

松田教諭の研究授業や研究協議の様子を振り返った上で、協働設計は、Professional learning community形成の出発点であることや教師自身も探究者として探究の間を問い続けて、最適解を目指して誰かと学び続けることの意義について御助言いただきました。



【助言の様子】

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 様々な視点から探究的な学びを意識した英語授業の取組について学べた。
- 生徒たちが協働的に評価、フィードバックを行っていたのが印象的だった。
- 本校ではICTの活用が喫緊の課題となっているため、松田先生の授業での適切な運用や、研究協議で有効なアプリなどを知ることができ、よい機会になった。
- 紙とタブレットの使用目的に合わせて、自然にICTを活用されていた。
- 帯活動の実践は、ワークシートの資料共有もあり、自校でも取り入れやすいと思った。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 本セミナーを通して、「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 52.9%
 - ・深まった 47.1%
- 2 本セミナーは、今後の授業改善に役立つ内容でしたか。
 - ・おおいに役立つ 47.1%
 - ・役立つ 52.9%